A1-7 如何贈送禮物

阿KUグループ発表準備のときに、差し入れを食べる】

A:阿ku B:友達

A: じゃあ、レポートはこんな感じでいいかな。ああ、一仕事おわったら、なんかちょっとお腹がすいたね。

B:(阿kuの友達、差し入れをもって部屋に入ってくる)こんにちは。差し入れ持ってきたよ。

A:わあ、ぐっとタイミング。ちょうどお腹がすいていたところなんだ。

B: それはよかった。口にあうかどうか分からないんだけど、食べてみて。ネットでおいしいって評判のプリンなんだけど。

A:わあ、ありがとう。いただきます。

日本人一年到頭,從年初到年尾都有送禮的習慣,年中的「お中元」與歲末的「お歳暮」是主要代表。再者,拜訪別人時多會帶伴手禮,出外旅遊返家時,也會習慣性地爲親朋好友或公司同事帶回當地名產,日語都稱之爲「お土産」。因此,整體而言,日本屬於送禮文化相關發達的國家,甚至以禮送禮,達到流動,說得誇張一點,自己送出的禮物,或許轉了一圈又回到自己的手中。

然而,不管如何,送禮時須考慮到接受者的心情,以能夠讓接受者歡心或喜愛的物品作爲致贈的基本考量重點。再者,除非是相當熟悉的朋友,否則也須避免送人親手製做的東西,以免成爲對方的心理負擔。特別是男性與女性之間,若非是情侶關係,更須避免手工製品的饋贈。此外,爲降低對方的心理負擔,禮物價格不要過高,盡量以禮輕人意重作爲優先考量。

前面會話爲朋友間的對話,文中所述的網購「プリン」(布丁)雖非正式禮品,但風評佳,又平價,所以可以讓人接受得安心,而東西送來的時機又是對方需要的時間點,符合讓對方喜愛的送禮原則,「口にあうかどうか分からないんだけど~」(不知是否合您胃口)的謙遜表現,也會讓人沒有壓力感。一般而言,「つまらないものですが~」(小禮物,不成敬意)應該是日語致贈禮物給人時,經常會使用的表現。